

「出題の意図」

選抜区分	2021 年度 （選抜区分：一般選抜・前期） 経済学部 （科目名：英語）
出題の意図 (評価のポイント)	<p>1. 出題の背景・求める能力</p> <p>I</p> <p>日本での地域間の人口移動について論じた文章を出題資料とした。英語の基礎知識が身につけているかどうか、そして、全体の論旨と話の流れをまず読解できているかが、正解・不正解の分かれ目となる。</p> <p>設問の種類は、大きな数字を英語で正しく読めるかどうかについての問い、英文和訳（とりわけ関係代名詞節を伴う文の英訳）、括弧内に入る適切な語句を選ぶ問い、など例年どおりである。</p> <p>II</p> <p>人間が自己を批判することの原因・影響および是非について論じた英文から出題した。問1、問2、問3は、通常の英文和訳、および、内容を日本語で説明する設問である。文章全体の論旨と流れについての読解力が求められる。問4の正解のためには、設問前後の英文の読解力と連語の基礎知識が求められる。問5は、資料の内容を正しく理解し、日本語でそれを的確に説明できることが正解につながる。</p> <p>IIIとIV</p> <p>和文英訳の基礎的な能力を問う出題である。SV、SVC、SVO、SVOO、SVOCの英語5文型がまず正しく設定されているかどうか、全体として日本語の内容に則した英文になっているか、そして、単語が正しく使われているかが、評価の主なポイントとなる。</p> <p>2. 解説(解法)</p> <p>I</p> <p>問1：基本的な単語 capital の知識をもとに、前段のどの英単語を capital が言い替えているのかを読み取ることで解ける。</p> <p>問2：alone にはいくつかの和訳がありうるので、文意から適切な訳語を選ぶことが大切である。</p> <p>問3と問5：大きな数字の読み方には、基本的なパターンがある。まずそれを踏まえた解答になっていることが得点につながる。スペルミスは減点の対象となった。</p> <p>問4：この段落で説明されている内容が正しく理解できていることが正解につながる。概ね正解に相当する表現で解答されていた。</p> <p>問6：関係代名詞を含む長い英文の場合、文全体の構造をまずつかむこと、</p>

そして、関係代名詞節がどこまでをカバーしているのかを読み取ることが、ポイントである。

問7: 若者の転入・転出に対して、各自治体が対策に苦慮しており、改善に至りにくいことが、出題文の後半の大きなテーマである。段落の変わり目の冒頭の一語なので、前の段落との文意のつながり・流れを把握することが大切である。とくに、前の段落の最後の文の“yet to deliver results”のニュアンスを読み取ることが正解につながる。

II

問1: 最初の it と二番目・三番目の it の意味が違うことに気づくことがポイント。

問2: 設問箇所直後にその内容の説明があるので、全体の文意も踏まえながら理解できることが大切。

問3: 長文であるが、その中に so ……that 構文が入っていることを押さえることが正解につながる。

問4: 設問箇所の前文と後文の内容を読み取り、選択肢内の連語 lose touch with に気づくことで解くことができる。概ね正解していた。

問5と問6: 設問箇所前後の文を中心に内容を理解できるかどうかのポイント。

IIIとIV

解答文の全体の構造が、英文として適切であるかどうか、まずは大切なポイントである。そのうえで、適切な単語や言い回しが含まれていることが、さらなる加点につながる。

3. 受験へのアドバイス

全体的に、英単語の意味を暗記するときは、一つの意味だけではなく複数の意味を憶えるべきである。

Iの問3と問5では、thousand や hundred のスペリングのミスが多かった (thausand や handred など)。単語の修得の際には、見るだけでなく、数回書くことと発音することが大切である。

Iの問6では raising children (子育て・育児) を正しく訳せていない答案が少なからずあった。単語の意味を知らない場合でも、文章全体の内容とテーマから、意味を推測できる練習も有意義であろう。

IIの問2の competing を「比較する」と訳しているケースが多々あった。compare と混同しているものと思われる。辞書を時々眺めて、似ている単語を見比べて再記憶する時間を持つと良いだろう。

IVの「人工知能」を英単語で書けていない答案が多かった。日ごろから「この日本語は英語では何と言うのだろうか？」と疑問を持つ習慣をつけることが、単語力のアップにつながる。

和文英訳の解答の中には、通常書き言葉としては使わないスラングや不適切な英単語、そして、崩れた文型の英文が散見された。インターネット、SNS、コミックなど、様々な媒体から英単語を知りうることは、その原因かもしれない。しかし、まずは高校のテキストや参考書などで、フォーマルな正しい英語（単語、表現、文型など）を修得して、知識の土台とすることが大切である。